

園芸市場情報

令和元年5月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

5月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

果実類は、入荷量は前年並、相場は前年を下回る！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年並か！

<今月の写真>

* 豊洲市場 開場から半年たちました！ *

2018年10月11日に開場した東京都中央卸売市場豊洲市場は、開場月からの半年で、入荷量が前年同期(2017年10月から2018年3月)と比較し、野菜で3%増、果実で8%増と上々の滑り出しとなっています。また、同市場への千葉県産の入荷量(野菜・果実計)についても、前年同期比11%増で、東京都中央卸売市場全体の千葉県産入荷量の前年同期比6%増と比較して、増加しています。

写真は、青果卸売場と仲卸エリアの様子を開場前と比較して掲載しました。



開場前



青果卸売場



広い通路が確保され効率的な卸売場



開場前



明るく広くなった
青果仲卸エリア



大型野菜コーナー
の県産品



移動セリの様子

CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 4月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 5月の見通し
 05 今月の青果物
 特集「にんじん」

II 花き（切花）情報

- 06 4月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）
 5月の見通し（カーネーション・ガーベラ・トルコキキョウ）
 3月の入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 3月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 祝 令和元年

V 首都圏掲示板

- 09 千葉県産びわの出荷が始まりました。

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。				

I 青果情報

1 3月下旬～4月中旬までの経過

気象	<p>年明け以降、平年と比べて暖冬傾向が続いていたが、3月末から寒気が南下し季節外れの冷え込みになった。4月後半に入り一転、気温が平年より高くなっている。</p> <p>気温は、全国的に平年を下回る傾向が見られ、特に本州では平均気温が低い地点が多かった。</p> <p>降水量は、北日本、東日本の日本海側など一部地域を除いて、少雨傾向となり、平年比を大幅に下回る地点も多かった。</p> <p>日照は、全国的に平年を上回り、北海道や九州の一部地域で特に多かった。</p>
----	---

野菜類

入荷量	<p>関東産及び西南暖地産を中心とした入荷となった。</p> <p>暖冬による出荷前進と低温による一時的な生育停滞などから、3月下旬～4月上旬は「だいこん」「はくさい」「ほうれんそう」などで入荷量が前年を下回ったが、天候回復とともに4月中旬は多くの品目で入荷量が増え、前年を上回った。</p> <p>野菜全体では、3月下旬から4月中旬の入荷量は129,843 t（前年比99.4%）と前年並となった。</p>
相場	<p>前年は秋冬野菜で品薄による高値が続いた反動で相場が続落した。本年は野菜類全体では続伸しており、低温等により入荷量が減少した「だいこん」「レタス類」「トマト類」などで前年を大幅に上回った。「にんじん」は秋冬の出荷と前進した徳島産の出荷が重なり、相場が伸び悩んだ。</p> <p>野菜全体では、3月下旬から4月中旬の価格は245円（前年比105.4%）と高かった前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷し、「すいか類」「びわ」などの夏果実も徐々に入荷した。</p> <p>「いちご類」は、主力の「とちおとめ」「あまおう」の入荷がいずれも前年を上回り、「いちご類」全体では前年をかなり上回った。また、「すいか類」は熊本県産、「びわ」は長崎県産を中心に入荷し、入荷量は前年を上回った。</p> <p>果実全体では、3月下旬から4月中旬までの入荷量は28,335 t（前年比107.2%）と前年をかなり上回った。</p>
相場	<p>価格は、「かんきつ類」「いちご類」は前年並で、入荷量の多かった「りんご類」「すいか類」「びわ」などは前年を下回った。</p> <p>果実全体では、3月下旬から4月中旬までの価格は492円/kg（前年比99.0%）と前年並となった。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2019年3月下旬～4月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	開市日数 本年7日・前年8日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年8日・前年7日				開市日数 本年22日・前年22日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	40,958	91.5	235	96.1	39,702	91.8	245	109.8	49,183	115.3	253	110.6	129,843	99.4	245	105.4
うち外国産	1,396	81.7	220	106.3	1,407	94.4	229	112.2	1,612	116.3	225	102.8	4,415	96.3	225	107.2
果実総量	9,450	97.7	513	104.0	8,793	102.8	490	94.7	10,093	123.0	474	98.9	28,335	107.2	492	99.0
うち外国産	1,454	93.6	232	99.4	1,325	89.3	232	99.1	1,847	130.9	261	102.2	4,626	104.0	243	101.3

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,031	67.7	84	102.2	3,202	82.8	93	127.1	3,753	108.1	112	130.1	9,985	84.5	98	121.1
にんじん	2,707	136.5	103	48.5	2,469	108.8	108	51.5	2,844	130.4	127	59.6	8,020	124.6	113	53.4
はくさい	2,217	95.1	60	53.6	1,921	79.6	77	193.4	2,580	114.4	84	172.3	6,717	96.0	74	110.7
キャベツ類	6,383	99.2	66	55.9	6,074	101.7	90	94.4	7,337	114.1	103	103.6	19,794	105.1	87	83.3
ほうれんそう	426	87.7	418	99.3	350	85.0	495	117.7	466	147.5	491	83.1	1,242	102.3	467	100.4
ねぎ	1,322	91.4	215	71.3	1,315	107.5	228	95.1	1,415	116.4	285	96.5	4,053	104.3	244	87.0
レタス類	2,360	75.7	183	124.2	1,927	73.7	215	148.8	2,619	104.4	223	140.1	6,906	83.8	207	138.0
きゅうり	2,250	91.9	287	95.8	2,145	79.3	256	113.9	2,762	110.3	235	112.1	7,156	93.5	258	105.7
なす	807	107.5	410	90.7	797	75.9	417	118.1	1,025	119.1	422	113.0	2,629	98.8	417	107.6
トマト	2,153	84.2	409	119.0	2,041	75.2	404	119.8	2,729	106.9	376	113.5	6,923	88.5	395	116.9
ピーマン	659	89.9	596	123.6	681	90.0	562	135.7	967	110.6	480	128.5	2,307	97.6	537	127.9
さといも	119	87.4	299	100.6	142	111.7	286	109.5	138	111.1	301	122.3	399	103.0	295	109.7
ばれいしょ類	2,369	86.9	107	104.4	3,056	111.7	126	114.5	3,364	114.4	133	118.8	8,789	104.6	124	114.1
たまねぎ	3,900	112.3	129	101.8	3,650	102.7	124	114.8	5,294	129.1	126	126.2	12,845	115.4	126	113.9
生しいたけ	200	86.9	912	105.7	188	97.3	922	113.8	209	115.4	928	107.0	598	98.7	921	108.7
かぼちゃ	875	93.9	155	112.0	779	93.1	156	121.2	979	124.2	169	99.5	2,633	103.0	161	110.7
さやえんどう	63	68.6	1,297	163.7	63	70.9	1,192	137.6	86	107.4	1,128	122.5	212	81.3	1,197	139.7
かんしょ	760	96.8	222	102.3	758	106.4	226	110.9	832	119.5	235	118.8	2,350	107.1	228	110.3
かぶ	391	78.1	145	110.7	379	76.3	145	117.5	472	96.8	147	121.2	1,242	83.6	146	116.4
ごぼう	171	117.7	362	79.4	254	162.5	321	79.5	285	158.7	334	81.4	710	147.6	336	79.7
こまつ菜	391	89.7	202	98.2	364	94.8	249	114.5	452	121.9	311	105.0	1,207	101.4	257	108.1
こねぎ	159	88.0	552	81.0	147	99.1	549	85.9	172	109.9	622	99.9	478	98.4	576	88.7
糸みつば	57	103.9	310	89.3	51	106.3	315	92.7	56	114.0	328	102.5	164	107.9	318	94.6
しゅんぎく	55	86.4	567	94.6	37	85.1	639	114.7	45	137.3	844	119.6	137	97.8	677	110.8
いら	262	85.8	436	93.4	250	95.1	470	104.1	291	101.1	557	126.6	803	93.8	490	108.3
セルリー	244	73.4	250	95.7	253	87.6	288	96.2	315	108.2	295	104.0	813	89.0	279	99.6
カリフラワー	73	105.3	341	115.5	54	73.3	351	114.6	104	114.9	295	112.5	231	99.0	323	112.8
ブロッコリー	978	87.4	393	114.2	835	93.4	494	143.7	966	164.8	532	96.4	2,779	106.9	472	120.7
サラダな	35	89.8	279	97.7	33	90.2	286	110.3	38	97.0	308	126.4	105	92.4	292	111.0
パセリ	25	90.6	621	89.1	24	88.0	603	96.0	27	111.0	598	88.5	76	96.1	607	91.1
チンゲンサイ	148	96.2	201	83.6	149	104.9	204	90.0	163	119.6	257	107.4	460	106.4	222	94.2
エンダイブ	3	57.5	1,480	301.9	3	62.7	1,726	368.0	4	82.5	1,417	240.2	10	67.5	1,525	294.9
ミニトマト	657	87.6	716	127.4	652	85.4	660	121.0	902	127.8	597	110.5	2,211	99.6	651	118.5
とうもろこし	4	87.3	544	115.8	4	58.9	542	114.9	20	113.5	586	114.1	28	98.0	575	115.4
いんげん	94	80.0	822	112.7	85	80.9	857	122.6	75	76.9	1,052	127.4	254	79.4	902	120.4
そらまめ	162	81.5	510	93.6	130	54.2	638	151.6	174	72.5	672	162.6	467	68.7	606	133.4
えだまめ	8	85.6	1,222	104.1	7	74.6	1,259	119.9	12	116.8	1,484	125.7	27	92.9	1,348	118.7
やまといも	40	83.3	523	89.1	47	120.5	538	90.3	57	120.0	534	90.4	144	107.0	532	90.1
根しょうが	109	95.4	664	105.0	99	93.8	711	105.5	132	111.1	737	108.3	339	100.4	706	106.6
マッシュルーム	50	91.8	846	100.4	53	119.0	823	99.3	59	134.6	831	98.7	161	113.4	833	99.4

品目 (果実)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	79	19.3	557	175.6	38	30.8	474	141.7	9	42.2	1,179	196.0	126	22.8	578	174.0
(ハウスみかん)	15	107.5	1,090	108.5	0	-	0	-	3	107.5	2,650	100.7	19	107.5	1,384	105.6
(普通みかん)	63	15.9	420	144.3	38	30.8	474	141.7	6	31.0	300	119.0	106	19.9	433	144.3
かんきつ類	3,586	100.1	304	100.3	3,158	107.7	304	101.8	3,405	116.7	303	100.1	10,149	107.6	304	100.7
りんご類	2,002	100.4	269	81.0	1,991	122.5	270	79.9	2,121	134.2	283	81.3	6,114	117.6	274	81.0
(ふじ)	1,765	105.5	261	78.3	1,757	130.8	264	77.6	1,833	142.5	278	79.6	5,355	124.4	268	78.7
いちご類	1,990	116.0	1,239	100.1	1,837	97.6	1,103	95.7	1,780	123.8	1,101	104.9	5,608	111.4	1,151	99.9
(とちおとめ)	961	121.6	1,176	105.0	829	97.5	1,067	98.5	891	123.9	1,060	104.8	2,681	113.6	1,104	102.8
(あまおう)	402	123.7	1,337	94.4	403	103.6	1,150	92.3	319	134.6	1,160	106.4	1,124	118.2	1,220	96.4
メロン類	147	65.2	993	139.1	171	74.2	798	119.1	354	152.5	665	86.1	672	97.7	770	107.2
(アールスメロン)	77	88.5	1,374	99.6	68	87.1	1,184	99.9	88	116.3	1,043	91.8	233	96.8	1,193	96.3
すいか類	200	86.8	398	101.0	326	90.7	358	95.4	817	123.1	330	91.5	1,343	107.1	347	93.5
(すいか大王)	135	80.9	325	97.9	247	91.5	309	94.4	690	131.7	305	91.9	1,071	111.6	308	93.3
(こだますいか)	65	102.1	549	98.7	80	88.6	507	98.1	127	90.8	471	99.4	272	92.6	500	99.1
びわ	8	188.8	3,028	85.3	18	161.9	2,334	85.9	28	118.8	2,078	91.0	54	138.9	2,303	90.5
ぶどう類	59	154.7	398	89.4	59	130.7	389	90.0	80	175.1	426	81.1	198	153.6	407	86.7
かき類	15	274.2	106	19.5	0	-	395	-	0	-	2,970	-	15	275.3	108	19.8

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	1,662	61.6	96	103.6	2,259	75.8	98	128.6	2,932	109.4	115	132.2	6,854	82.0	105	123.3
にんじん	493	73.1	66	30.9	145	62.1	86	49.0	54	120.6	105	59.4	691	72.6	73	36.2
はくさい	0	0.0	0	0.0	2	11.2	91	213.0	15	200.9	85	194.2	16	78.4	85	197.9
キャベツ類	881	85.8	68	56.1	867	110.5	89	87.3	1,358	155.0	102	104.0	3,107	115.5	89	82.2
ほうれんそう	30	62.0	401	121.0	26	85.3	438	113.1	25	127.1	443	96.3	81	82.5	426	113.6
ねぎ	602	99.3	214	66.8	558	103.2	228	93.7	633	122.4	280	96.1	1,793	107.8	242	84.4
レタス類	91	73.8	193	120.5	60	85.2	207	118.6	47	89.3	249	124.5	198	80.4	211	121.9
きゅうり	322	90.1	266	96.2	263	68.9	241	118.6	365	122.8	225	118.3	950	91.7	243	108.3
なす	11	92.8	546	101.7	12	68.8	517	119.0	19	104.9	497	126.4	41	88.9	515	116.2
トマト	120	88.8	372	115.2	96	63.0	364	116.2	136	95.0	343	114.6	352	81.8	359	115.1
さといも	27	83.9	276	92.5	35	139.0	263	100.3	29	117.4	312	120.3	91	110.8	283	102.5
かんしょ	427	105.8	214	103.3	431	109.8	225	112.0	494	124.9	238	121.7	1,352	113.4	226	112.4
かぶ	349	77.8	146	112.3	330	75.0	147	120.0	413	97.6	147	120.8	1,093	83.3	147	117.5
こまつ菜	14	82.0	245	110.3	14	97.4	288	112.2	12	80.6	333	111.5	40	86.4	286	111.3
しゅんぎく	12	73.5	583	92.8	9	73.2	680	110.5	13	142.7	889	113.9	34	89.6	723	109.7
サラダな	11	83.9	278	104.5	10	77.3	284	120.7	12	89.9	322	138.5	34	83.7	295	120.6
パセリ	11	97.5	571	85.1	11	87.3	543	93.5	13	107.7	533	83.8	35	97.5	548	87.3
ミニトマト	45	73.4	775	125.8	36	55.8	767	129.5	55	105.8	692	118.5	136	76.4	739	123.6
やまといも	19	67.3	541	91.4	25	104.0	548	90.9	31	100.0	554	92.4	74	89.9	549	91.8

品目 (果実)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	4	94.1	1,188	85.4	4	74.2	844	95.1	4	96.9	798	80.1	12	87.2	958	87.9
(アールスメロン)	4	94.1	1,188	85.4	4	74.2	844	95.1	4	97.6	798	79.7	12	87.3	958	87.8

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 - は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 5月の見通し

野菜

引き続き関東産と西南暖地産の入荷が中心となる。

入荷量は、生育が前進している「キャベツ類」や「にんじん」は潤沢だった前年を下回る見込み。九州産地で生育が順調な「ばれいしょ類」「たまねぎ」や関東産が主の「ねぎ」は、前年を上回る入荷が見込まれる。野菜全体では、潤沢だった前年を下回る見込み。

価格は、引き続き軟調な相場展開となり、秋冬野菜の高値反動を引き摺った前年並の見込み。

果実

「かんきつ類」「いちご類」の入荷は終盤に向かい、「すいか類」「メロン類」「びわ」「おうとう」など夏果実の入荷が増加する。

入荷量は、「すいか類」は主産地の熊本県が生育順調で、引き続き潤沢な入荷が見込まれており、多かった前年並の見込み。「びわ」は連休後から長崎県産の露地ものの出荷が始まり、前年を上回る入荷量が見込まれる。「母の日」ギフトの需要がある「マンゴー」「おうとう」、5月中下旬から「タカミメロン」の出荷が始まる「メロン類」も入荷量は前年を上回る見込み。

果実全体では、入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↘↘	⇒	↘	⇒	主産地は千葉、茨城県。1月の少雨により播種が遅れたが、暖冬で生育は平年並。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
にんじん	↘↘	⇒	⇒	↘↘	主産地は徳島、千葉県。徳島県は生育が順調で、千葉県は一部産地で播種、生育に遅れ。入荷量は多かった前年をかなり下回り、平年並の見込み。
キャベツ類	↘	↗	↑↑	↘↘	主産地は千葉、神奈川、愛知県。暖冬で前進していた生育が春先の低温で鈍った。入荷量は多かった前年をやや下回り、平年をやや上回る見込み。
ねぎ	⇒	⇒	↘	↘	主産地は茨城、千葉、埼玉県。春ねぎは前年よりも抽苔が少なく、夏ねぎも生育は概ね順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。
きゅうり	⇒	⇒	↘	⇒	主産地は埼玉、群馬県。低温の影響で生育が遅れ、月後半に影響が出る可能性あり。入荷量は前年及び平年並の見込み。
トマト	⇒	↗	↘	↘↘	主産地は熊本、栃木県。果実肥大や着色が鈍い産地もあるが、回復が見込まれる。入荷量は多かった前年並で、平年をやや上回る見込み。
大玉すいか	⇒	↗↗	⇒	⇒	主産地は熊本、千葉県。熊本県は生育順調で、千葉県は交配時期の低温の影響が懸念。入荷量は多かった前年並で、平年をかなり上回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

にんじん

主要産地のにんじんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2018年度5月入荷量	2018年度5月シェア率
千葉	2,487 t	24.0 %
徳島	7,276 t	70.2 %
青森	1 t	0.0 %
北海道	59 t	0.6 %

今後の競合産地の動向は?

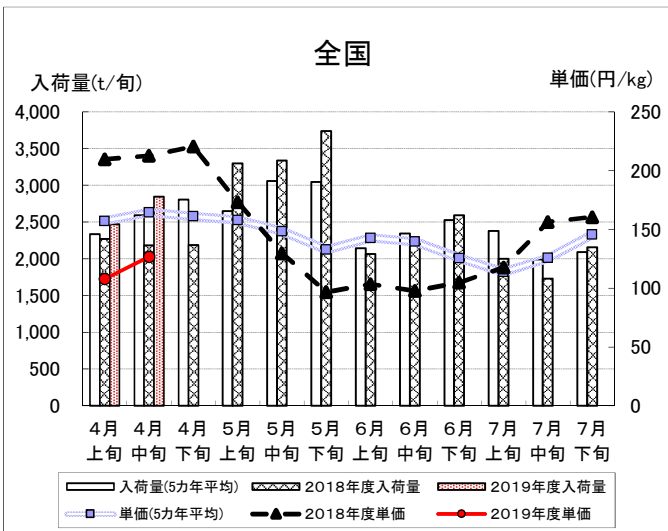
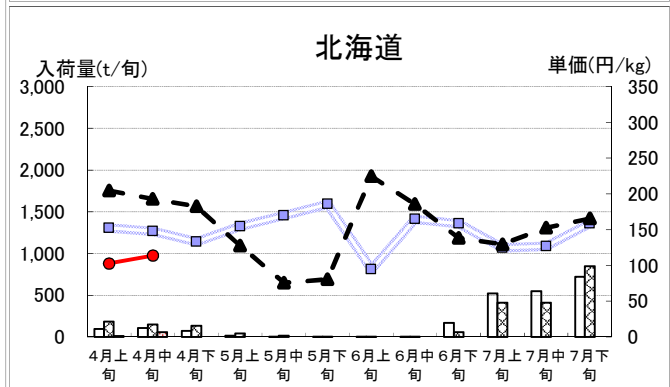
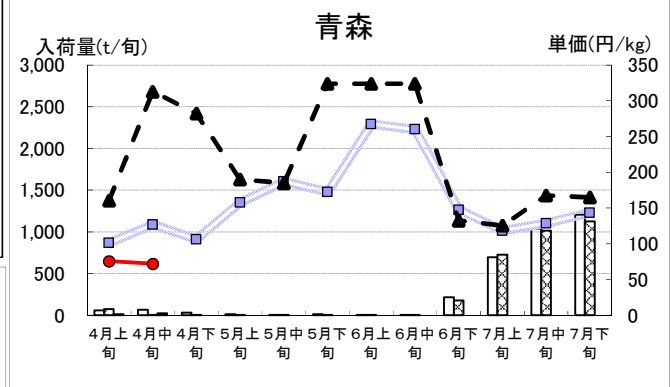
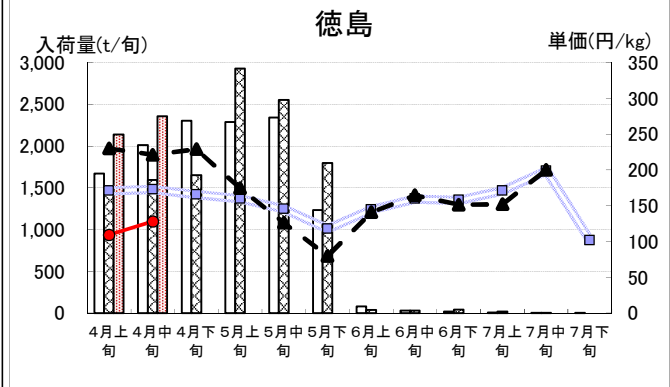
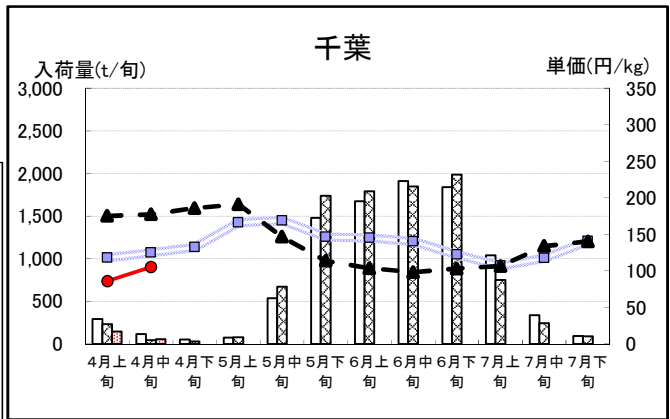
東京都中央卸売市場における春夏にんじんの主産地は、徳島県、千葉県、青森県、北海道となっています。4～5月は徳島県が主体となり、以降6月は千葉県、7月は青森県・北海道と主産地がリレーしていきます。千葉県産の春夏にんじんは6月をピークとして、5～7月まで出荷があります。8～10月は北海道からの入荷が主で、11月から千葉県の秋冬にんじんの入荷が始まります。

本年は、徳島県は播種作業が順調に進み、台風による播種作業の遅れや低温干ばつの影響があった前年より生育が前進しました。3月の東京都中央卸売市場への入荷量は前年比452%になりました。現在は春先の低温などの影響から肥大が鈍くなっていますが、今後気温が高まってピークに入り、5月も引き続き順調な出荷が続く見込みです。

続く、千葉県産は昨年末～1月にかけての少雨の影響で播種や年明け播種分の生育に一部遅れが見られます。出荷期間の後半に入荷の遅れ等の影響が出る可能性がありますが、前段産地の出荷が前年よりも前進化しているため、前半でスムーズな産地の切替りが期待されます。

5月の全体の入荷量は、複数産地の入荷が重なり潤沢だった前年を下回る見込みです。価格は、前年並の見込みです。

5月入荷予測	8,815t(前年比85.0%、平年比100.8%)		
5月価格予測	135円(前年比102.5%、平年比92.4%)		
5月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 強保合 ↗	(下旬) 弱保合 ↘



Ⅱ 花き(切花)情報

4月(中旬)までの経過

需要の少ない時期であるが、中旬は品薄で相場は堅調に推移した。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	4月上旬は平年をかなり上回ったが、中旬は平年を大幅に下回った。
相場	4月上旬・中旬は平年をかなり上回った。
動向	春物商材からヒマワリなどの夏物商材に移行する時期。

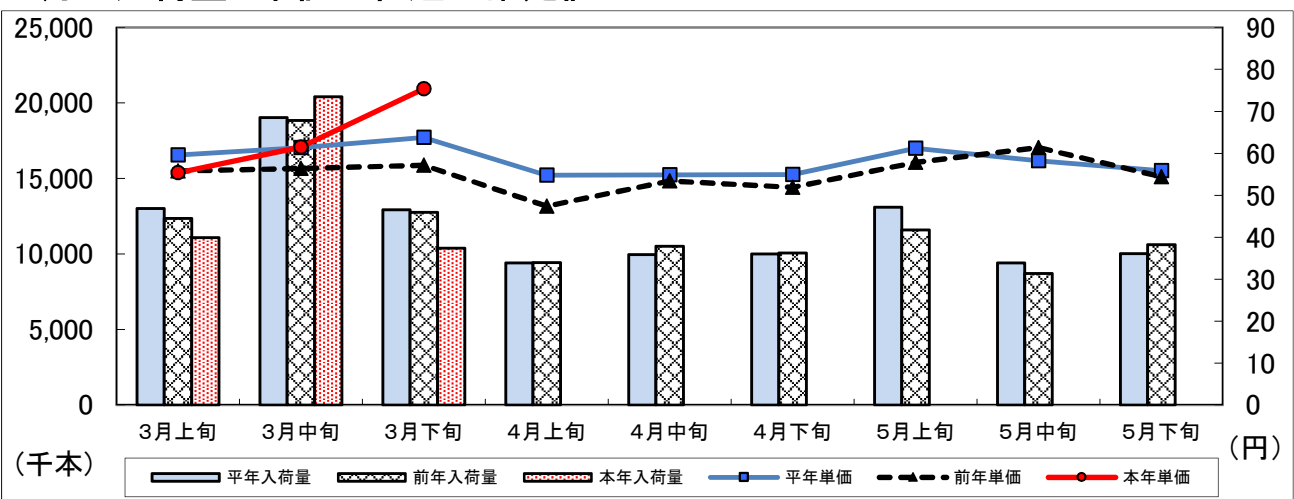
品目別経過

品目	経過	
トルコキキョウ	(株)大田花き	西南産地は全体的に前進傾向、現在端境期となっており、上・中旬は少な目となった。販売は冬の商材も終わったことで引き合いも強まり、堅調な販売となった。
	F A J	熊本・高知・栃木などより入荷。比較的安定した相場での販売続いた。

5月の見通し

品目	見通し
カーネーション	F A J 母の日商戦で活発な取引の見込み。愛知・栃木・千葉・長崎などよりまとまった入荷見込み。
ガーベラ	(株)大田花き 母の日後、全産地改植作業が本格化する。改植率と生産量も落ちており、昨年より少ない数量で推移する見込み。引き合いはヒマワリ等使われるようになり、黄色系が低調。
トルコキキョウ	(株)大田花き 出荷量は例年並みで、中・下旬には千葉、福島等出荷開始する産地も増えてくる見込み。

3月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H31.3月				累計 (H31.1～H31.3月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	20,686	0.88	168	0.86	59,419	0.96	177	0.77
だいこん	2,354	0.86	76	0.66	6,693	0.99	75	0.50
にんじん	1,174	1.15	87	0.47	3,782	1.14	89	0.54
はくさい	1,031	1.01	51	0.38	5,375	1.10	49	0.36
キャベツ	3,806	0.83	60	0.50	9,966	0.98	75	0.46
ねぎ	850	0.94	204	0.62	2,447	0.92	238	0.70
トマト	580	0.76	415	1.15	1,696	0.85	372	0.96
きゅうり	724	0.91	314	1.05	1,736	0.97	363	1.02
ばれいしょ	1,702	0.97	99	0.87	4,177	0.89	106	0.89
たまねぎ	2,144	0.92	128	1.15	5,678	0.90	139	1.31
レタス	843	0.72	160	0.98	2,567	1.00	195	0.71
果実	4,257	0.94	430	1.01	13,158	1.01	409	0.95
みかん	111	0.19	395	1.49	2,968	0.94	281	0.89
かき類	0	0.03	662	1.94	60	0.55	413	1.25
グレープフルーツ	103	1.11	194	0.74	268	1.15	191	0.75
なし類	0	0.00	0	0.00	10	0.31	267	0.88
ぶどう類	67	1.23	411	0.93	124	1.68	444	0.90
いちご類	648	0.92	1,228	1.05	1,549	0.89	1,337	1.07
すいか類	25	1.39	455	0.94	28	1.37	453	0.96
メロン類	45	0.49	519	1.77	94	0.47	589	1.96
バナナ	388	0.91	172	0.99	1,079	0.92	171	1.03
りんご	761	1.04	253	0.79	2,097	0.98	262	0.89
その他	233	0.78	176	1.02	681	0.83	225	1.09
青果物合計	25,176	0.89	212	0.91	73,258	0.97	219	0.83

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H31.3月				累計 (H31.1～H31.3月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	2,011	0.36	62	1.06	4,250	0.37	63	1.02
きく	515	0.29	69	1.04	1,100	0.30	72	1.06
バラ	62	0.28	106	1.27	131	0.25	99	1.26
カーネーション	336	0.41	48	1.06	644	0.41	47	1.02
枝物	32	0.32	108	1.04	101	0.35	112	1.05
鉢物	99	0.89	159	0.96	212	0.84	158	1.02
その他	1	0.12	63	1.46	3	0.29	39	0.80
花き合計	2,143	0.37	67	1.09	4,566	0.38	68	1.06

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

※平成30年4月1日から市川市地方卸売市場が民営化され調査対象外となった。

IV やっらゃば閑話

「祝 令和元年」

首都圏マーケティングセンターに異動になり早いもので1か月が経ちました。最寄りの駅から早朝の総武線快速に乗ると、混んでいて早くから活動している人の多さに驚かされます。また、JR大森駅から大田市場行のバスに乗車するころには、満員御礼状態となります。そんな通勤に少し慣れてきたところ、今年は、なんと10連休という今までにはないゴールデンウィークになりました。

4月に卸売会社の方々に、異動のあいさつと今年度の量販店での県産品フェアの打ち合わせを行っている、10連休の話になりました。卸売市場は臨時休市を挟み、半分は営業しています。いつもと違うのは、工場など多くの会社が10連休となることで、地方から野菜を積んできたトラックの帰りの荷物が無いことで、輸送コストがかかるなどの物流が心配なこと、もう一つは、外食が多くなりスーパーなどで生鮮食品の売れ行きの見通しが分かりづらいなど、例年にはない心配事が、聞かれました。

さて、我が家のゴールデンウィーク中の一番の課題は、子供の家庭科の宿題でした。休み中に「一汁三菜」のメニューを考え、家族に料理をふるまい、レポートを作成し報告するというものです。一緒に下調べをしてみると、日本が誇る和食は、古来よりご飯と汁、菜（おかず）と漬物という4つの要素で構成され、現代の食卓に合わせると、ご飯と汁もの、主菜のおかず1品、副菜のおかず2品ということになります。

メニューを考えていると、副菜2品は、野菜を多く使うので、子供に今の旬の野菜は何だろうと聞いてみると、答えは・・・？。頑張った料理は見事完成し、おいしくいただきました。子供の宿題で食について改めて考えることができました。

また、5月1日は、新元号の話題で盛り上がっていますが、新元号「令和」の由来は、「万葉集」の梅花の歌が出典で、首相官邸から発表された「令和」の意味では、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい。」との願いを込め、決定したそうです。

出典の万葉集「梅花の歌」では、「初春の令月にして、気淑（よ）く風和ぎ、梅は鏡前の粉（こ）を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薫（かをら）す。」と歌の中に「初春の令月」という言葉があります。「令月」とは、何事をするにもよい月。めでたい月という意味だそうです。

「平成」から「令和」へ元号も変わり、2020年には、東京オリンピック、パラリンピックの開催、消費税率の10パーセントへの改正や軽減税率の適応、改正「卸売市場法」の施行など様々な変化が見込まれます、明日への希望と共に、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせるという願いを込めた「令和」の時代が、素晴らしいものとなるよう念じてやみません。

（早起きは四文の徳？）

V 首都圏掲示板

千葉県産びわの出荷が始まりました

4月15日に千葉県産のハウスびわが大田市場へ初入荷しました。都中央卸売市場におけるびわ入荷量シェア(H30)は、長崎県が約70%で1位、千葉県は約13%で2位となっており、千葉県産は露地びわが例年6月上中旬に出荷最盛期を迎えます。

びわの出荷時期には、山形県のサクランボ、宮崎県のマンゴーなど高級果実が競合しますが、「房州びわ」のブランド名で知られている本県産びわは市場で高く評価されており、贈答用などに引合いがあります。

前年産は寒害などの影響もあり、都中央卸売市場への入荷は平年を下回りましたが、本年産は順調に生育しており、露地ものを中心に前年を上回る入荷が見込まれています。



千葉県産ハウスびわ化粧箱(2L)とパック荷姿



競合するサクランボ
入荷量のピークは6月下旬